

研究課題名	腺腫様甲状腺腫の解析研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院、 伊藤病院、 慶應義塾大学病院
研究責任者	所属 武蔵野赤十字病院病理部 氏名 宅見智晴
研究期間	平成 25年 4 月 ～ 平成 27 年 3 月
研究の意義・目的	<p>甲状腺疾患に於ける穿刺吸引細胞診検査は良悪性を判断する上で有用な検査法の一つである。腺腫様甲状腺腫は甲状腺癌との鑑別が時に必要になるが、鑑別困難な症例に遭遇することも少なくない。腺腫様甲状腺腫は、皮膜を形成しない腫瘍様の病変で、濾胞上皮が互いに圧排する形で増生し、出血や炎症性細胞浸潤、嚢胞変性、線維化および石灰化などの二次的変化を伴うことがある。この組織像を反映し細胞学的にも乳頭状集塊や濾胞集塊が単独で出現する場合や乳頭状集塊と濾胞集塊の混在が見られ、そこに二次的変化も加わり細胞判定に苦慮することも少なくない。細胞診断成績向上のためには、組織と細胞診の比較検討を行い、その結果を解析し研究することは有用であると考える。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>【対象】 2002～2006年度に当院耳鼻科にて切除され病理組織学的に腺腫様甲状腺腫と診断された17例と伊藤病院にて腺腫様甲状腺腫と診断された33例、計50例につき、術前に施行された1症例複数回あるいは複数枚の穿刺吸引細胞診標本対象とした。</p> <p>【方法】 下記の6項目について解析を行う。</p> <p>1) 出現細胞あるいは背景物質の分析、 2) 細胞集塊の構造形態の分類、 3) 細胞集塊の混在パターンの解析、 4) 全濾胞上皮細胞集塊の内訳、 5) 濾胞上皮細胞の核形態による分類、 6) 核内細胞質封入体の出現率</p>
個人情報の取扱い	<p>患者様個人を特定することがなく、人権侵害に対する問題はありません。それらの問題が起こらないよう十分配慮して使用致します。また、今回の研究は後方視的研究であり検体採取および投棄などには影響がなく患者様に不利益や危険が及ぶことや日常診療への影響もございません。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 病理部 氏名 宅見智晴</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>